

図書館の公的供給

使命・利用者・利用料

大場 博幸



五つの主題から公立図書館の存在意義を考える

- ▶公立図書館の使命，利用者の実態，無料の原則，貸出と市場との関係，地域間のサービスの差を主題とした論考集である。
- ▶全8章構成として，公立図書館の現在の一断面および図書館をめぐるさまざまな議論の現在地を示そうと試みた。

2025年8月13日刊行 定価5,280円（税込） A5判 上製 283頁
ISBN978-4-88367-409-1

〈主な内容〉

1. 公立図書館における資源配分の問題
2. 図書館の公的供給の理論的根拠
——1960年代以降の米国における論争
3. 公立図書館と「表現の自由」との法的関係
——憲法上の根拠の喪失
4. 2010年代日本における図書館利用者の特性
5. 図書館利用と社会活動および境遇への認識
6. 米国公立図書館における利用料徴収
——歴史および州図書館法における規定
7. レンタルレコードにおける貸与権とレンタル禁止期間
——図書館および出版産業に対する示唆
8. 全国公立図書館の新型コロナウイルス対応
——国立国会図書館調査データの二次分析

番線印	新刊のご案内 FAX 03-6801-5202	
ご担当者様	図書館の公的供給 使命・利用者・利用料 大場 博幸	
注文冊（返品条件付）	本体4,800円＋税 ISBN978-4-88367-409-1	
樹村房 〒112-0002 東京都文京区小石川5-11-7 TEL：03-3868-7321 FAX：03-6801-5202 URL：https://www.jusonbo.co.jp/ E-mail：webinfo@jusunbo.co.jp		

●取次様による委託配本はございません。返品条件付による出庫です。
●店頭展示，図書館への販促をお願い申し上げます。